

第一回

曲豆凜基金特集

平成十七年度

株式会社豊凜では、福祉活動の一環として豊凜基金を設立し、日本全国で難病等に悩まる方々のために、売上金の一部を地域社会に返還しています。

第一回豊凜基金に参加して下さった皆様に深くお礼申し上げます。

豊凜基金で、より多くの子供達が笑顔で生活を送れるようにしたい。これが私達豊凜の仕事の一つです。



五体満足で働かして頂いている私たちが全国で難病や障害で苦しんでいる方々に少しでもお役に立てたらと今年一月豊凜基金を立ち上げました。豊凜基金は販社長、リーダー、メイトさん達全員が参加する事の出来るよう売り上げの一部を販社長単位でそれぞれの地域においてもらいう基金です。今年一月に開設し八月一日創立記念日に全国十二カ所に販社長役に立てもらいました。この施設は、社長の地元にあります。わざか半年の期間ではありましたがその金額は八百万円にも及びました。ここで改め此の売り上げに参加して下さった方々に深くお礼申し上げます。

株式会社 豊凜

代表取締役 山口 律子

私を育んでくれた宮崎のために

一月のリーダー会議で、山口社長から「豊凜基金」の話を聞き、改めて豊凜の仕事をしていることに自信と誇りを持ちました。そして豊凜の創立記念日であり、そして第一回豊凜基金の日である八月一日を目指してリーダーと共に頑張りました。豊凜基金当日は、市長室で、市長の立ち会いの中、身体障害者協会とスペシャルオリンピックス日本・宮崎（身体障害者のスポーツ）に山口社長の代理として、共に頑張つたりーダーと一緒に基金を渡すことが出来た時は、本当に感動しました。私はこれまでずっと社会に貢献する仕事をしていきたいと願っていましたが、今までの人生の中では、決してそれを実現、実感することは出来ませんでした。しかし、豊凜基金のおかげで、社会の一員として、私を育んでくれた、この宮崎の地に貢献することが出来て、とても感謝しています。これからも、もっともっと地域のために頑張り、そして地域にお返しが出来るよう努力していきます。豊凜基金をつくつてくださった山口社長に感謝し、共にがんばります。ありがとうございました。

【宮崎県 布谷 恭子販社長】

社会に貢献できる一員として命の続く限りがんばります

私が豊凜化粧品のリーダーになり、初めてのリーダー会に出席しました時、山口社長から豊凜基金の発表がありました。すごい時にリーダーにならして頂いたという、感動も冷めないうちに半年が過ぎ、八月一日、豊凜基金第一回贈呈式に私も列席することができました。言葉では言い表せないほどの、初めての感動でした。個人では何も出来なかつた私が、豊凜に触れ合う事によって、社会に貢献できる一員として、この場に立たせて頂いている事に感謝し、これからも命の続く限り、頑張つていきたいと決心しました。

【高橋 ヒロ子リーダー】

地域に貢献できる喜びに感謝

私は、この度の第一回豊凜基金を、富山県共同募金会に届けて参りました。豊凜に関わるすべての人のおかげで、このように地域社会に貢献できるようになりました。今回の豊凜基金は地元の北日本新聞、富山新聞の二紙面に取り上げられました。私自身も地域に貢献出来る喜びを、ひしひしと実感しています。これからも豊凜基金を通して、三年後、五年後と、この先ずっと、地域のために頑張つてみたいと思います。

【富山県 石川 淑子販社長】

頂いた感謝の言葉から豊凜基金の素晴らしさを実感



豊凜基金の発表当初、私は漠然としたイメージしかありませんでした。しかし、八月一日に名寄市長にお会いし、今後の福祉に役立てて頂けるよう、想いを伝え、基金をお届けしました。その時市長からは、沢山の感謝の言葉を頂き、その言葉の重みを改めて感じ、この豊凜基金の素晴らしさを実感しました。

これから毎年訪れる、この豊凜基金を仕事の励みとし、豊凜と出会いながら十年目という節目の年を迎える今は、私自身原点に戻り、頑張つていこうと強く思いました。そして、来年もこの豊凜基金をこの想いと一緒に届けたいと思います。

【北海道 林崎 優子販社長】

第一回 豊凜基金 寄付先

北海道	名寄市役所	福祉課
愛知県	社会福祉法人和敬会	八楽児童寮
岐阜県	独立行政法人国立病院機構 長良医療センター	
富山県	社会福祉法人 富山県共同募金会	
石川県	社会福祉法人 新川むつみ園 坊丸の郷	
富山県	富山医科大学付属病院	
特定非営利活動法人	スペシャルオリンピックス日本・富崎	
社会福祉法人 宮崎市社会福祉協議会		

豊凧基金を医療施設、研究のために そして沢山の人の命が救われるよう

販社長になつた年に第一回豊凧基金を販社長としてリーダーと一緒に持つて行けることに本当に感謝の気持ちでいっぱいになりました。今回私が一番豊凧基金を届けたいところ、それは病院でした。それもガンの研究に役立てもらいたいと思いました。私は乳ガンになり、手術した経験があります。その時に何年か前までは全部とらなくてはいけなかつた治療法が今は研究が進み取らなくても大丈夫だということを知りました。そのような研究や医療設備には大きなお金が必要だと思います。ただ、それ以上に沢山の命も救われることと思います。私は今回豊凧基金をより多くの方の命を救つて頂くため、研究と医療の進歩の願いを込め富山医科大学付属病院に届けました。私達が毎日一生懸命仕事を頑張ることで、誰か助かる人がいるつてことを常に考え、誇りを持つて仕事をしていこうと思います。そして来年は今年よりも多くの豊凧基金を持つていけるよう頑張ります。

【富山県 松本 智子販社長】



豊凧基金を県民のために役立ててほしい

私はこの記念すべき、第一回豊凧基金の場に、立ち会えたことを誇らしく思っています。今回は、松本智子販社長と共に、富山医科大学付属病院へ豊凧基金を納めに行きました。私達は、この豊凧のこと、豊凧基金のことを説明し、そしてその気持ちと共に、寄付金を手渡しました。私はこの基金を研究費用や設備、医療施設など、そして県民のため役立ててほしいと思っています。実際にどのように使われているか、そして、どのように社会福祉に貢献できているかを、そしてこの豊凧基金の素晴らしさをメイトさん一人一人に伝えていきたいです。次回は、販社長として、豊凧基金を届けることができるようこれからも頑張ります。

【野間 真実リーダー】

山口社長の気持ちを受け取り、多くの地域に役立てたいです。

今回、私は、第一回豊凧基金を、と共に頑張つたりーダーと、富山市社会福祉協議会へ納めに行きました。人のため、地域社会のために自ら何かをしたくても、なかなかできなかつたのが現実；しかし、この豊凧基金で、山口社長の気持ちと共に、私達自らの手で、地域社会貢献できたことを、心より感謝しています。

【富山県 松下 ゆかり販社長】

難病で苦しんでいる方へ：

今回、第一回豊凧基金で、私は松下販社長と共に、寄付金を納めに行きました。私達の手で、手渡した基金を、どうか医療設備や福祉車輌の充実、難病に苦しんでいる方のため、両親がいない子供達のため、まだまだ日本中で助けを必要としている方のため、少しでも役立てて頂きたいと思います。今回は、松下販社長に同行して、納めに行きましたが、やはり、私達の中でそれぞれが、それぞれの福祉の気持ちを抱いています。私は、販社長を目指し、次回は私の手で、この豊凧基金を、私の想いの届く形、そして想いの届くところに納めたいです。

【富山県 松下 ゆかり販社長】

自分の手で施設などに届けたい

豊凧基金は、とても素晴らしい福祉活動です。私自身がわきました。これからは、もっと頑張つて、自分の手で施設などに持つていきたいです。

女性社長は素晴らしいですね。女性は自分で決めたことを成し遂げますから」と言われました。私も女性としてできるごとに全力を尽くします。

【愛知県 鈴木 雅子販社長】



【竹内 洋子リーダー】



私の手で少しでも地域社会のお役にたてる。そんな思いで、第一回の豊凧基金の日を迎えるました。事前にどうなところでどのよう役立てていただけるのかを考えました。「常日頃より、福祉の気持ちを抱いていてもなかなか、出来ることではありません」と市の方より感謝の言葉を頂きました。私の人生六十年の中でも、こんな想いを感じるのは初めてでした。これからもより多くの方に、この豊凧基金をお届けしたいです。

多くの方に豊凧基金を 伝えたい

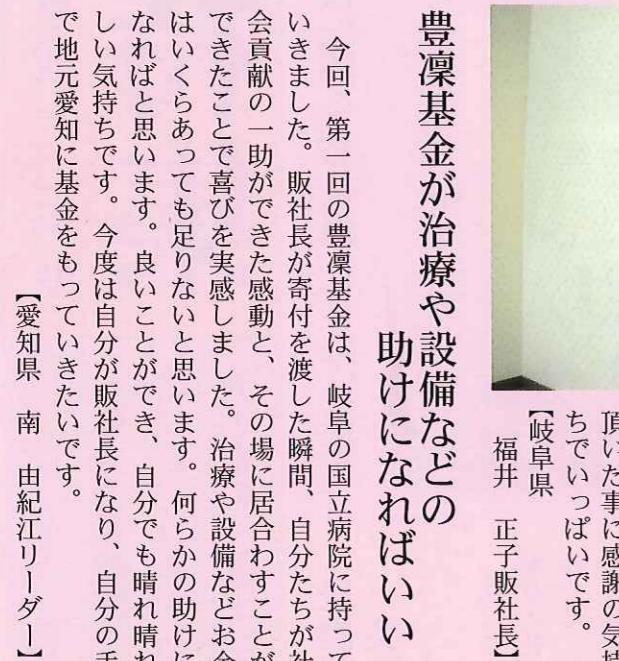


【山口 知恵子
リーダー】

施設の方の笑顔に改めて喜びを感じました

今まで社会貢献なんて考えたこともなかつた私ですが、豊凧に出会えたおかげで、地域社会に貢献できる日を迎えることができました。豊凧基金に込める思いを、大切に使つてもらえるところを探し、そして晴天の八月一日、第一回豊凧基金を販社一同、社会福祉法人新川むつみ園坊丸の郷へ届けさせて頂くことに致しました。豊凧基金の贈呈式では、施設長さんや総務課長より「豊凧基金を立ち上げて下さった山口社長に感謝します。この基金は皆さんの売上の一部と聞きました。私たちに使わせて頂けました。私達もそんな言葉を聞きながら、豊凧基金を立ち上げて下さいました。大事に使わせて頂きます。」と、改めて喜びを感じました。このむつみ園で、知的障害を持ちながら頑張っている方達の笑顔に応えるため、この先何年も、何年も地域社会に貢献していくよう、豊凧をしっかりと伝え、頑張っていきます。

【富山県 若林 美和子販社長】



【愛知県 南 由紀江リーダー】

自信と誇りをもつて仕事に打ち込めます

私は、今回第一回豊凧基金を岐阜県にある国立長良医療センターへお届けしてきました。この医療センターには、メイトさんの身内の子供さんが難病でお世話になつております。そして、まだまだ私達のまわりにも、苦しい病気と戦っている方が沢山います。方々のために、豊凧基金を通して地域社会に貢献している方々のために役立てて頂きたいと思います。そして、多くの方が豊凧とふれあい、そして幸せになつてもらえるよう、頑張つて豊凧を伝えていきたいです。

そしてこの度、山口社長の代理として大役をさせて頂き、そして素晴らしい体験と、今、自分が販社長をさせて頂いた事に感謝の気持ちでいっぱいです。

そこでこの度、山口社長が寄付を渡した瞬間、自分たちが社会貢献の一助ができた感動と、その場に居合わせることができたことで喜びを実感しました。治療や設備などお金で必ず私自身の手で、私の地域にも私自身の思いと共に、この豊凧基金を沢山の人に届けたいと思います。

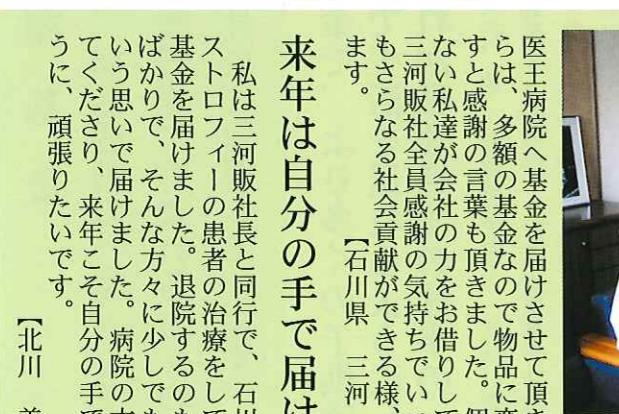
豊凧基金が治療や設備などの助けになればいい

今回、第一回の豊凧基金は、岐阜の国立病院に持つていきました。販社長が寄付を渡した瞬間、自分たちが社会貢献の一助ができた感動と、その場に居合わせることができたことで喜びを実感しました。治療や設備などお金で必ず私自身の手で、私の地域にも私自身の思いと共に、この豊凧基金を沢山の人に届けたいと思います。

豊凧基金が治療や設備などを助けになればいい

私は、今まで社会貢献なんて考えたこともなかつた私ですが、豊凧に出会えたおかげで、地域社会に貢献できる日を迎えることができました。豊凧基金に込める思いを、大切に使つてもらえるところを探し、そして晴天の八月一日、第一回豊凧基金を販社一同、社会福祉法人新川むつみ園坊丸の郷へ届けさせて頂くことに致しました。豊凧基金の贈呈式では、施設長さんや総務課長より「豊凧基金を立ち上げて下さった山口社長に感謝します。この基金は皆さんの売上の一部と聞きました。大事に使わせて頂きます。」と、改めて喜びを感じました。このむつみ園で、知的障害を持ちながら頑張っている方達の笑顔に応えるため、この先何年も、何年も地域社会に貢献していくよう、豊凧をしっかりと伝え、頑張っていきます。

【北川 美千代リーダー】



来年は自分の手で届けたい

私は三河販社長と同行で、石川県で唯一の筋ジストロフィーの患者の治療をしている病院に豊凧基金を届けました。退院するのも難しい患者さんばかりで、そんな方々に少しでも助けになればといふ想いで届けました。病院の方々も暖かく迎えてください、来年こそ自分の手で持つていけるように、頑張りたいです。

【北川 美千代リーダー】